

[第 107 回藤樹人間学塾のご案内]



皆さま

令和 2 年 7 月

NPO法人高島藤樹会

いつもありがとうございます。

本塾は藤樹先生の教えを学び、人間いかに生きるべきかを共に考える形で進めています。

7月にはコロナ対策を十分に第 106 回を開きました。京都・大津からを含め 10 名の参加でした。

最初にコロナに関連して免疫学の第一人者、宮坂昌之氏の著書『免疫力を強くする』の内容を少し話しました。氏はスローライフ・スタイルで生活することが自然免疫を高めると推奨されています。

次に日経新聞に掲載されたフランスの経済学者ジャック・アタリ氏の意見、「人類が感染症や気候変動の脅威からの生き残りを望むなら、利己主義でなく、利他主義が自身の利益になることを意識すべきであろう」を紹介しました。

さて、『中庸解』第 20 章の続きです。「齊明盛服、礼に非ざれば動かざるは身を修むる所以なり…」。皆で輪読した後、大意について以下の様に説明しました。「本節は九経を行う方法について述べています。①身を修める…衣服を正し、五事を正して純一の本心に復る、②賢臣を尊ぶ…良知に至れば巧言や美色や貨財に惑わされない、③親に親しむ…親族の物心に気を配る、④大臣を敬する…部下各々の役割を認めて任す、⑤群臣を体する…部下の報酬に配慮する、⑥庶民を子とする…庶民の負担を少なくし生活できるよう配慮する、⑦百工を来たす…生産者にはその働きに応じて収入が得られるようにする、⑧遠人を柔らげる…外国からの来訪者には門戸を広げ能力に応じて働いてもらう、⑨諸侯を懐くる…各地域の責任者の事情に合わせて待遇する。これらの実行は中庸の本体である愛敬の心を用いることである」…現代にも十分通じることですね。

その後、日経ビジネス 2020 年 6 月号に掲載された最新のリーダーシップ論を紹介しました。「リーダーに一番求められる能力は自分を管理して皆をリードすることである(=修身が第一)。優れたリーダーの共通点は常に学ぼうという姿勢を持っていた」。リーダーシップ論は 2,500 年前も現代も本質は変わらないですね。

フリートーキング、アンケートでは、「九経を行う根本は『誠』だと思う」、「誠はドラッカーのいう真摯さと同じだ」、「学び続けることが大事だと再認識した」、「頭を使う楽しさ、素晴らしさを感じることができ、充実した時間を持てた」という意見・感想を頂きました。

学ぶは愉^{たの}し！あなたも本塾に参加されませんか。

■ 日 時 令和 2 年 8 月 2 日 (日) 15 時～17 時

■ 場 所 安曇川公民館 (高島市安曇川町田中 89)

■ テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」

テキスト 中江藤樹著・西晋一郎通釈『中庸解・通釈』第 20 章 p.271～

塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)